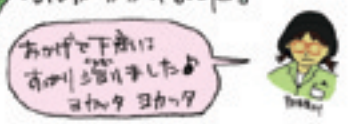
キリンタイムズ

48号

2008.6.21

先日、脚を痛めてしまったキヨミズ……。とても
痛そうにしているので、獣医さんにクスリを出して
もらいました。動物たちにクスリを飲ませる方法は
いくつかありますが、いちばん理想的なのは、動物にストレスを与えず、
しかも適量を飲ませる方法です。そのためにもどの担当者もふだんから、その
個体の好物を把握しているものです。今回、キヨミズに処方されたのは粒のクスリ
でした。好物のリンゴをクスリの粒と同じくらいの大きさに切り、混ぜて与えればあっという間に
投薬完了!! そんな失先、リュウオウが生まれて初めて下剤になってしまい、
生まれて初めての投薬を試みました。リュウオウはリンゴに対してさほど見向きも
せず、与えられた粉グスリをどう飲ませようか悩みました……。強いていえば
好物である固形のエサに、水を少しかけ、そこに粉グスリを混ぜ差し出し
ましたが食べてくれません……。
そこで、クスリのついたエサを手に乗せ、
その上にクスリのついていないエサを乗せ
たら食べました。成功したものの、手からで
ないと食べてくれず、時間と
手間がかかりました。